

令和7年度 全国学力・学習状況調査からみえる おかやの子のすがた

岡谷市教育委員会



先生との信頼関係がよい

「先生はよいところを認めてくれる」
お互いを認め合う温かい関係が
築かれています

人の役に立ちたい！地域をもっと良くしたい！

「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするため
に何かしたい」優しい気持ちと強い意欲をもっています

学校生活が充実！

「学校が楽しい」「友だち関係に満足」
友だちと充実した生活を送っています

岡谷の子の よいところ

児童・生徒質問紙で
肯定的な答えが
多かった設問から

本が好き、知識も広がる

「読書が好き」という児童生徒が多く、
知識や考え方を学ぶ意欲が高いです

規則正しい生活で毎日元気

「朝食を毎日食べる」「同じくらい
の時刻に起きる」健康的な生活習
慣が身についています

みんなで協力して学ぶ！

「互いに協力して課題の解決に取り組ん
でいる」友の考えを大切に学習に
取り組んでいます。

いじめは「ダメ！絶対！」

「どんな理由があってもいけない」
いじめは絶対に許さない
という気持ちを持っています

教科に関する調査の結果

- 小学校では、国語・算数・理科の平均正答率は全国と同程度で、県を上回りました
- 中学校では、国語の平均正答率は県・全国と同程度、数学は全国と同程度で県を上回りました
理科は県・全国を上回りました

特に小学校で「自分で課題を立てて
情報を集めて調べたことを発表して
いた」と思っている児童がやや少ない

岡谷の子の 課題

児童・生徒質問紙で
否定的な答えが
多かった設問から

特に中学校で授業時間以外の勉強
時間がやや短い

「ICT 機器を使って図、表、
グラフなどを使ってまとめる
ことができる」と思っている
児童生徒が少ない

今後の取り組み

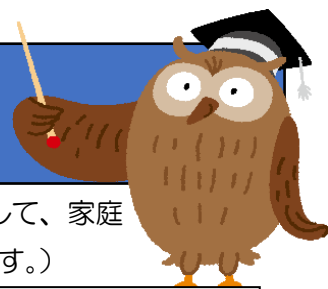
- 各学校では「岡谷スタンダードカリキュラム」にそって学びを進めています。地域の課題に目を向け、大人や友だちと力を合わせて取り組む活動を通して、自分に自信をもち、これからの社会を生きていくために必要な力を育てていきます。また、日々の授業では、生活とのつながりを大切にしながら、「わかった」「できた」と感じられる学びを目指し、役立つ知識や技能をしっかりと身につけていきます。
- 毎日の授業ではこれからも、友との話し合いや、自分の考えを表現する時間を大切にしていきます。また、タブレットなどの ICT 機器も上手に使いながら、それぞれの子どもに合った学び方を工夫し、一人ひとりの力を伸ばしていけるようにしていきます。
- 各教科では、小学校から中学校までの9年間のつながりを考えながら、学びが深まっていくように工夫します。小学校と中学校が協力しながら、子どもたちの力をしっかりと育てていきます。

★各ご家庭においても、お子さんの学習の様子を見守りいただき、声かけ、ご支援をお願いします。

⇒ 裏面『伸びる おかやの子』へ

伸びる おかやの子

～ こんな問題につまづいていませんか ～



算数・数学の問題を一問ずつ紹介しますので、お子さんと問題に挑戦するなどして、家庭での学び方について話題にしてみてください。(正答率は全国の公立学校の数値です。)

小学校 算数

③ (2)《正答率》23.0% (全国)
《小学校5年生で学習します》

(2) 次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



ひろと

$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。
もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。

数や言葉を使って書きましょう。

《正答例》

$\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ のもとにする数を同じ数にするとき、その数は $\frac{1}{12}$ になります。 $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{12}$ の9個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{12}$ の8個分です。

岡谷市の正答率は19.2%でした。次の(4)分数の計算問題 $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ は80.2%と高い正答率です。分数の学習では「分数＝わり算」や「計算のやり方」だけを覚えてしまっていて、分数の本当の意味を理解できていない場合があります。分数の意味や性質について、「なぜこうなるのか」を考えるようにしていきましょう。

中学校 数学

① 《正答率》31.8% (全国)
《中学校1年生で学習します》

下の1から9までの数の中から素数をすべて選びなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

《正答》

2, 3, 5, 7

岡谷市の正答率は19.9%でした。岡谷市だけでなく長野県でも正答率が低かった問題です。小学校の「分数」と同様に、「素数」のような数学の基本となる考え方についても、ただ暗記するだけでなく、「どういう意味なのか」「どんなときに使うのか」など、意味を考えることが大切です。自分で「なるほど!」と思えるような学びを大切にしていきましょう。

素数とは「1と自分自身でしか割れない数」です。ふだんの生活では使わなそうに見えますよね。実は、毎日使っているスマホやゲームの中でこっそり素数が活躍しています。例えばLINEやメールを使うとき、誰かに勝手に見られたら困ります。そこで使われるのが「暗号」です。この暗号をつくるために「とても大きな素数」が使われています。ちなみに現在発見されている一番大きな素数は「2の1億3627万9841乗から1を引いた数」です。

学力向上のポイント ーさらに力を伸ばすためにー

① 「なぜ?」を考え、学び方を工夫しよう

□「なぜそうなるのか」「どんな意味があるのか」を深く考える学びが重要です。ただやり方を覚えるだけでなく、本質を理解することが応用力を育みます。授業の予習復習に加え、疑問を解決したり興味を深めたりする自主的な家庭学習にも挑戦してみよう。

② 様々な本を読み、言葉の力を伸ばそう

□「読書が好き」な児童生徒ほど、国語だけでなく他の教科でも正答率が高い傾向にあります。これは問題文を正確に読み解く力や語彙力、表現力が養われるためです。様々なジャンルの本に挑戦したり新聞を読んでみたりしよう。

③ 温かい声かけで、やる気を育もう

□ご家庭での温かい言葉かけは、学習意欲を引き出す大きな原動力です。お子さんの「得意なこと」や「がんばっているところ」を見つけ、「すごいね!」「よくがんばったね!」と具体的に認め、褒めてあげること、自己肯定感や自己有用感を育めます。